

仙台司教区

教区事務所だより



(第 9 号)
昭和52年5月1日

神学生誕生

来る9月、4人の助祭神学生が司祭に叙階されると、東京大神学校に在籍する仙台司教区所属の神学生数はゼロになる。この点悲しまれていたところ、この四月、二人の神学生が誕生した。大湊教会出身の川村英成神学生、花巻教会出身の板垣勤神学生である。共に高校卒業後、数年を実社会でもまれて来た「つわもの」であるが、生涯を司祭職にかけた二人の決意が豊かに実るよう、共に祈りたい。

また、水沢教会出身の千葉征慶君も、一般学生として上智大、哲学部に在籍しつつ、神学生志願者として、東京トマス学生寮に寄宿、研鑽を積

んでいる。

「収穫は多いけれども働く者は少なし」。働く人の卵を送って下さった神に感謝しつつ、これを機会に、私たちの困りから召命の芽がもつとのびるよう祈り、且つ努力したいもの。

助祭叙階式

4月7日聖木曜日。雪のちらつく仙台、元寺小路司教座聖堂で、笹気直哉神学生（西仙台教会出身29歳）が、佐藤司教司式により、聖香油祝別ミサ中、助祭に叙階された。笹気師は昭和45年4月神学校に入学。現在神学4年生。司祭叙階は他の3人の助祭と共に9月15日（悲しみの聖母の祝日）に予定されている。

仙台教区司祭研修会

去る3月28・29日、作並グリーングリーンにおいて、ワルケンホルスト師（イエズス会士・上智大学神学部教授）を講師として司祭研修会が開かれた。当日、降雪と国鉄時限ストライキとが重なり、出足が心配されたが、各宜教会の司祭、邦人司祭総勢49名が参加した。

「主の霊は私の上にある」（ルカ4の18）を演題として、ワルケンホルスト師はイザヤ書を引用しつつ新約との関係を講演され、

①イエズスさまの時代状況、②イエズスさま御自身の自己理解、③イザヤ書を引用したイエズスさまの意図に言及された。

一時間の講演ののち、質問の時間が設けられ、活発な質問が出された。ワルケンホルスト師はそれに対して一つ一つ懇切丁寧に応えられた。

参加者一同、夜はちょっと豪華な気分を味わい、リラックスした中で、お互いの親睦を深めた。

五戸小教区、ケベック
外国宣教会管下に移管



今まで、八戸鮫教会の巡回教会だった五戸教会は、4月1日からケベック外国宣教会の管轄に移管され、十和田教会（主任ポリケン師）の巡回教会となった。

同教会は昭和30年ごろ創設され、ケベック会クルノワイエ師よりヴァレ師、デュメン師に引き継がれ、昭和40年4月から邦人司祭が八戸地区を受け持つことになった時、邦人司祭団の管轄に移されたが、今回再びケベック会の手に戻すことになった。信者数は少ないが、幼稚園教育を通して地域の公益に多大な貢献をしている。俗説「キリストの十字架」のあるところでもある。

典礼ニュース



さきごろ教区事務所に、典礼司教委員会から、次のような典礼関係ニ

ユースが送られて来た。直接信徒に関係する部分を抜き書きし、お知らせする。

◇「ゆるしの秘跡」について

昔「告解の秘跡」と呼ばれていた「ゆるしの秘跡」を日本語で行なうことが出来るよう準備が進められ、昨年八月に、ローマの認証を求め、手続きがとられているが、残念ながらまだ返事は来ていない。しかし委員会としては、認証の下り次第直ちに印刷出版出来るよう準備を整えている。新しい儀式書が出版される時点で、新しい式にもとづいてゆるしの秘跡を頂くことが出来るので、信徒のために、式の「順序」と「祈り」を入れた四頁程度のパンフレットを作ることも併せて計画している。

◆ 子供のミサについて

厳密には、「子供とともにささげるミサ」と言う。このミサの認証はもう既にローマから下りているので、ミサ中の新しい奉献文を含めて、ミサの式次第全部を出版の予定である。但し、このミサの認証には、三年間試験的に使用してみて、その結果をローマに報告すること、という付帯

条件がついている。夏までには出版の運びとなるだろう。

◇「司祭不在の場合の集会の祭儀」と「聖体賛美式」について

この二つについては、まだ儀式書の一部について検討がつづけられており、検討が済み次第出版されるだろう。

◆ 「典礼聖歌集第九集」と「合本」について

第九集と前後して、全体の合本が夏ごろ出版される予定である。

◇「祈願集」について

国語典礼文起草委員会が毎週木曜日に開かれ、訳文の検討が行なわれているが、これも夏までに出版出来るようにしたい。

無原罪の聖母宣教女会

創立 75周年
日本宣教 50周年 を迎える

同会は一九〇二年、使徒的熱意に燃えた一女性デリア・テトロによって創設されたカナダ最初の宣教女会で、日本への第一歩は一九二六年、

奄美大島に3名の修道女が来日した時に始まる。そこで教会の仕事に従事していたが、一九二九年、仙台教区長(当時デユマス師・ドミニコ会士)からの招きで北上し、郡山市に修道院を設立。次いで会津若松市にも修道院を設立して幼児教育に尽力した。

戦時中は一時帰国を余儀なくされたが、一九四六年再来日。以来郡山市にザベリオ学園(幼・小・中)、聖マリア園(養護施設)、会津若松市にザベリオ学園(幼・小・中・高)などの事業をもち、福島県の若い子女の教育に当たっている。
記念式典は5月29日(日)東京の本部修道院で行なわれる。

ミニ情報



※ 司教館にシスターが

今まで司教館で働いていた小野マツエさんは、この2月末日をもって退職し、福島県勿来教会に転出したので、3月13日から、聖ドミニコ女子修道会のシスター一名(欠畑姉)

が派遣され、司教館の機能の維持管理の任をうけもっている。司教館は、教区の行政のかなめでもあり、いろいろな訪問客も多く、人不足の折から、修道会が会員を派遣してくれたことに、教区は感謝している。

※ ご苦労さま 8年間の奉仕

聖ドミニコ女子修道会は、ドミニコ会から白河幼稚園の手伝いを依頼され、昭和44年4月1日から幼児教育に携わっていた。当時、園長は今は亡きヴィエット師であった。この度、当初の目的が達成されたので、3月20日をもって引き揚げた。

幼稚園は引きつづきグアダルーペ会の若手イバラ師、マルコ師のコンビで運営されていくが、教会ともども盛り上がることを期待する。

※ シュミドリン師(ベトレヘム会)

銀祝を迎える

去る4月10日、同師は志家教会において、司祭叙階25周年を祝った。師は、一九五二年4月6日、スイスの本部で司祭に叙階され、同年4月13日に初ミサを捧げた。

※ 第二回仙塩地区使徒職研修会
終わる

昭和51年9月12日から始まった第二回使徒職研修会は、遠く白河、福島からの参加者を加えて、52年3月6日、「共に救いをめざして」をテーマに7課題を熱心に研修し、終了した。

受講者から、「聖書に基づき信仰の基本をしっかりと示して下さい」「続けて聖書を学ぶ機会をつくってほしい」、「主任司祭・合同会議を通して研修会の趣旨をよく説明する必要がある。そうするとともに参加者が多くなったのではないか」等の意見が寄せられた。

※ 仙台教区修道女連盟研修会

去る2月20日、仙台教区修道女連盟の研修会が、仙台聖ドミニコ学園を会場にして開催された。新潟教区修道女連盟にも呼びかけ、同教区からの13名を含む108名の修道女が熱心に参加した。研究テーマは、「聖書の社会的よみ方」。ニコラス師(イエズス会士)の講義、グループ討議、質疑応答を通して、研修者一同深い

示唆を得て、ミサ聖祭で散会した。
なお、仙台教区修道女連盟のあり方に対する意見も問われ、同連盟の今後の積極的な活動が期待される。

(修道女連盟書記投稿参照)

✽ 寿庵祭

切支丹武士と開拓者後藤寿庵の遺徳をしのび、あわせて五穀の豊作を祈る春の寿庵祭が、左記の通り開催されます。

行列と共同ミサによる式典

とき 5月29日(日)午前10時

ところ 水沢市福原後藤寿庵記念碑前

主催 カトリック水沢教会

共賛 福原農事実行組合

後援 カトリック仙台司教区

(一関教会報参照)

司教様の日程

(4月16日現在)

4月1日～2日 出張

4月4日 宗教法人責任役員会

4月7日 聖香油ミサ・叙階式(元寺小路教会司教座聖堂)



4月9日 復活祭徹夜ミサ・入信・堅

信式(元寺小路司教座聖堂)

4月10日 復活祭ミサ(元寺小路司教座聖堂)

4月11日 役員会(邦人司祭団)

4月12日～18日 出張

4月22日 スペルマン病院理事会

4月24日 堅信式(豊屋町教会)

4月25日 邦人司祭団月例会

4月26日 管区長会議

4月3日 司牧評議会

5月6日 仙台教区修道女連盟総会

5月8日 堅信式(白石教会)

5月9日～14日 出張

5月15日 堅信式(北仙台教会)

5月18日 社会福祉法人理事会

5月19日 誓願式(ロザリオの聖母修道院)

5月21日 聖心侍女修道会記念式典

5月24日～28日 司教会議

5月29日 無原罪聖母修道会記念式典

佐藤司教様にお会いに

なりたい方のために

時々、「司教様は、おいでになりますか」という電話が教区事務所にかかって参ります。

「教区事務所だより」第2号でお知らせし

ましたように、司教様が事務所に出動される日時は左の通りです。折角御利用下さる。

月曜日 午前10時～午後5時

水曜日 午後2時～5時

なお、東仙台司教館でもお会いできます。

(電、〇二二一五六一四九六五)

聖書美術展と

聖書講演会



心のともしび・善き牧者運動25周年を記念して、仙台YBU文化センターが、仙台教区その他の後援で主催した「聖書美術展」は、3月18日から22日まで5日間、仙台読売ビル七階、仙台市民ギャラリーを第一会場に、幼児から大人までを対象に聖書をテーマとした作品を公募して、盛大に開催された。

18日午前11時すぎ、ロトリ教皇庁大使、島野仙台市長、佐藤司教のテープカットで開幕。わが国で初めての試みである公募作品による聖書美術展は世の興味をひき、教会や学校側の協力で、仙台教区だけでなく、東京、神奈川、愛知、広島県や、プロ

テスタント側の出品もあり、七百点を超す作品を集め、この種の会には珍しい程多数の入場者があり、連日盛況であった。記録された入場者だけでも二千余、中には遠来の客も少なくなかった。

教皇大使賞は元寺小路教会の菅原清男さんその他。仙台司教賞は松尾京子さん(仙台)、黒沢泰子さん(盛岡)、荒木孝康さん(会津若松)、その他に授けられた。

この催しが、一般の人々が聖書に興味をもって、読み、研究するためによい影響を与えるものと、大いに期待される。

また、18日午前10時から読売ホールでバルバロ神父の、「イエズスが

放送時間の訂正

(心の灯係より)

既報「教区事務所だより」第7号で、小林司教担当の「聖書講座」番組紹介をいたしました。放送時間8時15分から10分間は5分から10分間の誤りでして、左の通り訂正いたします。

「11月14日から毎日曜日、午前8時5分から10分間、青森放送ラジオで32回連続、小林司教担当の『聖書講座』が放送される。」

死んだ日」と題する講演があった。半生を聖書の翻訳解説に献身する同師の確信にみちた力強い熱弁は、完全に聴衆を魅了した。

(仙台YBU文化センター投稿)

人事往来



☆ ロトリ大司教(ローマ教皇庁大使)来仙

去る3月17日、聖書美術展の開会を祝うために、サレジオ会士バルバロ師を伴い来仙。同日夕、心の灯、聖職者、信徒有志による歓迎晩餐会に出席、翌18日、開会のテープを切り、賞状授与等を行って美術展の開会を祝い、後、会津経由で帰京された。

☆ レンソン師(淳心会)来仙

去る3月21日、日本宣教司牧センター専務理事のレンソン師が、同センター所長の佐々木師との打ち合わせのため来仙。翌22日離仙された。

☆ デュベ師(ケベック会)来日

今年三十一歳(一九四五年7月17日生)の若いケベック会宣教師が青森に着任した。一九七五年6月15日

カナダで叙階。同年九月来日。六本木の日本語学校で一年半日本語を学び、現在、本町教会で、更に日本語を学びつつ司牧宣教に当たっている。聖職者の平均年齢が年毎に高まる中で、貴重な存在である。

☆ マルコ師(グアダルペ会)白河カトリック幼稚園を担当

東京大神を卒業後、しばらくメキシコに帰っていたマルコ師は、昨年五月から喜多方教会の主任代理をつとめていたが、この三月から白河カトリック幼稚園を担当することとなり、白河に赴任した。なお、四月末主任のイバラ師がメキシコに休暇帰国するに伴い、その留守中、主任代行もつとめる。

☆ フェデリコ師(グアダルペ会)

大湊教会で日本語研修

六本木の日本語学校を卒業したフェデリコ師は、昨年六月以来、白河教会で日本語の勉強をつづけていたが、去る三月二日から、大湊教会で日本語の研鑽に力を注いでいる。これは、全くスペイン語を話さない環境の中で、よりよく日本語を身につけようという同師の意欲から生まれ

たもの。4/6月滞在後、福島県にもどり、司牧、宣教に従事するが、同師の速やかな日本語修得が実ることを期待する。

☆ フォルテン師(ケベック会)川

崎へ転出

一本杉教会主任フォルレ師のカナダへ休暇帰国の間、同教会で主任を代行していたフォルテン師は、今回横浜教区のケベック会の管下にある溝の口教会に転出することになった。

来てみませんか!!

召命の集い。



来る5月8日(日)午後2時、元寺小路教会(信徒館)において、「来てみよ」(ヨハネ1の39)

1 もう一つの生き方をテーマに、若人の集いをもちます。

将来の生き方を模索している若人が祈りと賛美のうちに、もう一つの生き方1 神に身を委ねる 1を自分の内に一度考えてみるこの出来る機会を提供するものです。

召命促進グループ(仮称)

同教会のルメ師が、休暇のためカナダに帰国するので、その代行をつとめるため。

☆ ベルニエ師(ケベック会)カナ

ダへ

ケベック会管区長ベルニエ師は、ケベック会準総会に出席のため、4月15日羽田を発った。8月半ば帰日の予定。同管区長の留守の間は、ラシャベル師(一本杉教会)がその代行をつとめる。

☆ ルイス・ロペス師(グアダルペ

会)メキシコへ帰国

この3月までグアダルペ会管区長をつとめていた同師は、4月7日、メキシコで新しい任務に着かれるために帰国した。

☆ 善き牧者愛徳の聖母修道会院長

交代

3月末日、シスター・ミカエル小浜は、院長の役務を退いて鹿兒島の愛の聖母園へ。4月1日から、シスター・セシリア五十嵐が新院長として鹿兒島から着任された。

☆ グアダルペ会管区長交代

任期満了によりルイス・ロペス師は管区長の職を退き、4月1日から、

アントニオ・バルデス師(田島教会)が新管区長となられた。

☆ ベトレヘム会管区長交代

任期満了により、ルカ・ストッフエル師は管区長の職を退き、4月15日からアントニオ・ツীগエル師(上堂教会)が新管区長となられた。

☆ 佐々木師退院。そして東京へ

同師は2月初め、鴨子国立病院に転院加療していたが、同病院での温泉治療が効を奏し、3月26日無事に退院。聖週間・復活祭を西仙台教会で過ごし、4月13日、日本宣教司牧センター所長の任に着くため、東京に赴いた。

☆ 村首ステファノ師

小名浜教会臨時主任代行をつとめていた同師は、4月6日、泉市の将監団地の住宅に一時居を定めた。師は開拓伝道の命を受け、そのかたわら、白百合短期大学で講義をも受け持たれる。

1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.

仙台司教区事務所だより第9号

昭和五十二年五月一日発行

発行所 仙台司教区事務所

〒980 仙台市本町一丁目2番12号

TEL 0222 22-7371